

## 第2章 国の統治機構

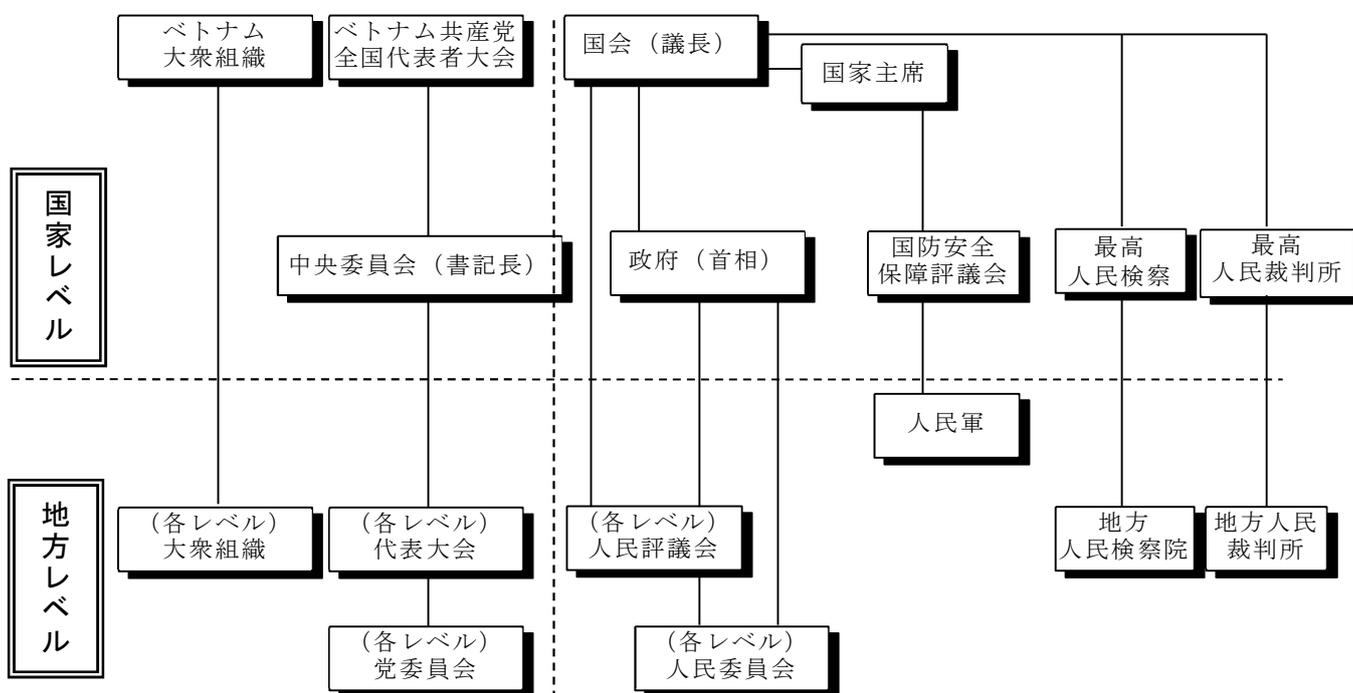
本章では、ベトナムの統治機構を概説する。

### 第1節 概観

#### 1 政体

憲法では、ベトナムは社会主義共和制国家であるとともに人民主権国家であると規定している。ベトナム共産党の一党支配による単独政権であり、国家元首である国家主席、政府の長である首相、共産党の長である書記長、国会の長である国会議長の4者を中心とした集団指導体制がとられている。

表2-1 ベトナムの国家機構<sup>22</sup>



#### 2 憲法

現行の憲法は、2013年に制定された「ベトナム社会主義共和国憲法」である。この改正は、憲法前文に明記されているとおり、社会主義への移行期において、1992年憲法までの過去の憲法を継承し、「富民、強国、民主、公平、文明」の目標を達成するために、行われたものであった。

憲法では、第8条において国家は民主集中の原則を実施すると定めている。地方

<sup>22</sup> 出典：各国の地方自治シリーズ 28号『ASEAN諸国の地方行政～ベトナム社会主義共和国編』（一般財団法人自治体国際化協会、2007年）

行政については、第 112 条で地方行政の役割権限を初めて明確化し<sup>23</sup>、新たな社会に対応しようとする意思を示した。第 113 条で地方議会に当たる人民評議会について、「地方における国の権力機関であり、人民の意思、願望及び主人権を代表し、地方人民により選出され、地方人民及び上級の国の機関に対し責任を負う」とし、法律が定める地方の各問題の決定、地方における憲法及び法令の遵守、人民評議会の議決の実施の監察を、人民評議会の役割と明記している。また、第 114 条では地方行政機関に当たる人民委員会について、「同級の人民評議会により選出される、人民評議会の執行機関であり、地方における国の行政機関であり、人民評議会及び上級の国の行政機関に対し責任を負う」とし、地方における憲法及び法令の施行を組織すること、そして人民評議会の議決の実施及び上級の国の機関から委ねられた任務の実施を組織することを役割として憲法に明記されている。

### 3 元首

国家元首は国家主席である。国家主席は対内的・対外的に国を代表し、国会において国会議員の中から選出される。任期は 5 年である。現在の国家主席は、グエン・スアン・フック (Nguyễn Xuân Phúc) 氏であり、2021 年 4 月に選任された。2016 年 7 月の第 14 期第 1 回国会で首相に就任し、2021 年 3 月から開始した第 14 期第 11 回国会で国家主席に初めて選出された。

国家主席の主な権限及び任務は、憲法及び法律の公布、国家副主席・首相・最高人民裁判所長官等の選任・解任・罷免に関する国会への提案等である。また、軍事上では、国防安全保障評議会議長を兼務している。

### 4 国会

国会は、憲法によって国民の最高代表機関かつ国権の最高機関とされ、憲法制定権と立法権を有する唯一の機関である。一院制で定数は 500 人であり、定例会は年 2 回開かれる。

国会には、議長、複数の副議長（現在 3 名）、国会常務委員会、民族評議会及び各委員会が設置されている。現在の議長はブオン・ディン・フエ (Vương Đình Huệ) 氏である。

国会の主な権限は、憲法・法律の制定と改正、国家経済・社会発展に関する基本計画・財政政策及び民族政策の決定、国家主席・国家副主席・国会議長・副議長・

---

<sup>23</sup> 2013 年「ベトナム社会主義共和国憲法」第 112 条 1. 地方政権は、地方における憲法及び法令の施行を組織し、保証する；法律が定める地方の各問題を決定する；上級の国の機関の検査、監察に服する。2. 地方政権の任務、権限は、中央と地方の間における、及び各級の地方政権の間における国の各機関の管轄権の配分を基礎として確定される。3. 必要な場合は、地方政権は、上級の国の機関のいくつかの任務の実施を、当該任務の実施を保証する条件とともに委ねられる。

国会常務委員会各委員・首相・最高人民裁判所長官等の選任及び解任等である。

国会への法案提出権は、国家主席、国会常務委員会、国会民族評議会及び各委員会、政府、最高人民裁判所、最高人民検察院、ベトナム祖国戦線及びその各構成団体が有し、幅広い層や団体が法案提出権を持っている。

国会常務委員会は国会の常設機関であり、議長、副議長及びそのほかの委員で構成される。常務委員会の構成員は閣僚を兼務できない。常務委員会の主な権限は、国会の召集、憲法及び法律の解釈、国会から委任された事項に関する法令の制定、憲法、法律、法令及び国会決議の執行の監督、政府、最高人民裁判所及び最高人民検察院の業務の監督、各レベル地方行政組織の人民評議会の監督及び指導等であり、幅広い権限を与えられている。

国会議員選挙は国家選挙評議会によって組織される、中選挙区制による直接選挙である。任期は5年であり、選挙権は18歳以上、被選挙権は21歳以上の国民に与えられている。

2021年に実施された第15期国会議員選挙により、現在の構成は共産党員485人、非共産党員14人の計499人となっており、このうち女性議員は151人、少数民族議員は89人、40歳未満が47人である。また、団体・組織の推薦を受けずに立候補・当選した自薦議員は4人である。<sup>24</sup>

## 5 政党

共産党は憲法第4条において国家・社会の指導的勢力であると規定されており、中央レベルにおいて党大会、中央委員会、政治局などから構成されている。地方でも地方行政区分の各レベルに応じて中央と同様の組織系統を構築しており、「省・中央直轄市レベル」、「県レベル」、「社レベル」からなる組織を持っている。これらの党組織は政策の企画・決定に強い影響力を持ち、中央政府レベルでは、共産党が方針・政策を決定し、その決定内容を国会で審議、採択した上で、政府が執行する。

共産党の最高決定機関は、原則として5年ごとに開かれる全国代表大会（党大会）であり、党大会で選出される中央委員会が実質的な最高機関である。党大会は党としての基本方針や路線を決定し、中央委員会はそれを具体化するための基本指針や政策などを決定する。中央委員会の下に、政策決定機関として18名から成る政治局、書記長及び10名の書記局員（うち書記長含む6名は政治局員を兼務）から成る書記局が設置されている。なお、決定機関の順位は機構上では党大会－中央委員会－政治局－書記長となるが、いずれも決定権限をこの順序に譲与する規定になっており、現実の権力関係は書記長－政治局－中央委員会－党大会の順序になる。

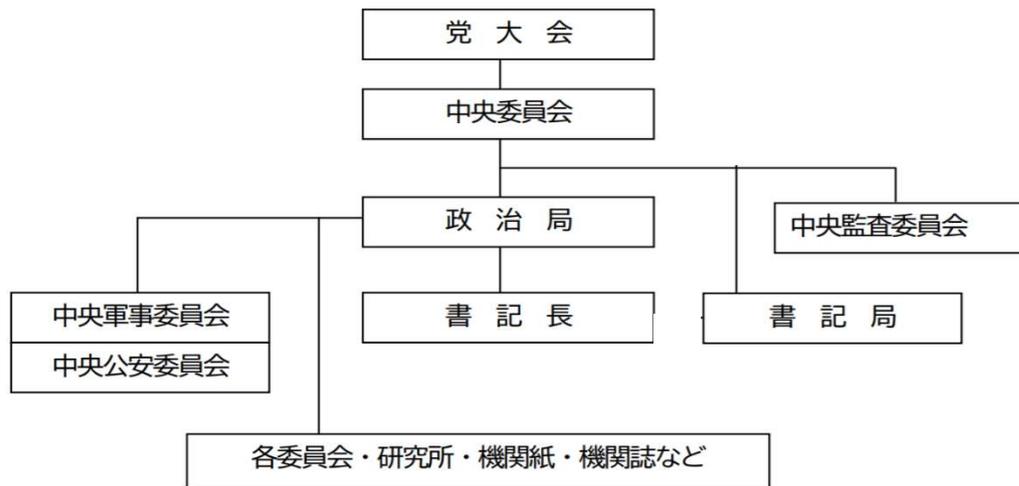
指導部の序列は政治局の名簿順であり、現在の序列第一位はグエン・フー・チョ

---

<sup>24</sup> ベトナムニュース総合情報サイト VIETJO (2021年6月11日) <https://www.viet-jo.com/news/politics/210611170804.html>

ン (Nguyễn Phú Trọng) 書記長、ついでグエン・スアン・フック (Nguyễn Xuân Phúc) 国家主席、ファム・ミン・チン (Phạm Minh Chính) 首相、ブオン・ディン・フエ (Vương Đình Huệ) 国会議長、ヴォー・ヴァン・トゥオン (Võ Văn Thưởng) 党書記局常任の順となっている。トップ3の出身地は北部1名、中部2名となっている。

表 2-2 ベトナム共産党中央組織図<sup>25</sup>



## 6 大衆組織

ベトナムには、大衆組織 (Mass Organization) と呼ばれる、職業や社会的カテゴリーによって組織された様々な団体が存在する。大衆組織とは、政府・共産党が決定した政策や法律を国民に周知させるべく活動する草の根組織であると共に、国民の意見を吸い上げる機関であり、中にはベトナム祖国戦線やベトナム女性連合など、政治的に強い力を有し、実質上、国の省庁と対等かそれ以上の地位を有する組織もある。大衆組織のうち、法律により特別な権限と役割を与えられ、国家予算の配分が規定されている団体を政治・社会組織と呼び、ベトナム祖国戦線、ベトナム女性連合、ベトナム農民連合、ホーチミン共産青年団、ベトナム労働総連合、ベトナム退役軍人会の6団体がある。憲法第116条は、関連する諸問題について地方の人民評議会や人民委員会が討議を行う場合は祖国戦線及び政治・社会組織の長を招くべきこと、人民評議会・人民委員会は地域の状況について祖国戦線と大衆組織に定期的に報告し、政策の策定及び地方の経済・社会の発展に関する意見を聞くべきことを明示している。

<sup>25</sup> 出典：今井昭夫・岩井美佐紀編著『現代ベトナムを知るための60章【第2版】』明石書店 (2012年) p.269

以下、主な大衆組織であるベトナム祖国戦線、ベトナム女性連合、ベトナム農民連合、ホーチミン共産青年団を簡単に紹介する。

#### (1) ベトナム祖国戦線

ベトナム祖国戦線 (Vietnam Fatherland Front) は、フランス占領下における抗仏運動組織や南北分断時代における民族独立運動組織を継承する組織である。憲法第9条は、ベトナム祖国戦線及びその会員組織は人民の統治における政治的基盤であるとし、国家はそれらが効率的に活動できる条件を整えるとしている。ベトナム祖国戦線は大衆組織の要であり、中央から地方までピラミッド型に組織されている。

ベトナム祖国戦線は、国会への法案提出権のほか、国会議員・人民評議会候補者の推薦、関連する問題が協議される際の閣議への参加などの役割を持ち、強い政治力を有している。

#### (2) ベトナム女性連合

ベトナム女性連合 (Vietnam Women's Union) は、旧封建主義や植民地主義と戦うための女性の組織として、共産党の指導の下に設立された組織である。国の全ての省庁及び人民委員会は、女性と子供に関連のある施策計画を策定する際は、ベトナム女性連合に相談することとされている。

#### (3) ベトナム農民連合

ベトナム農民連合 (Vietnam Farmers' Union) は、農民の意思を代表すべく設立された組織である。主な活動には、貧困農民に対する貸付や農業技術の向上支援、貧困対策、識字率の向上支援などがある。

#### (4) ホーチミン共産青年団

ホーチミン共産青年団 (Ho Chi Minh Communist Youth Union) は、1930年に祖国の独立・建設を目的として「インドシナ共産青年団」として設立された組織である。構成員は15歳から30歳までの若者である。共産党とのつながりが強く、実質的に共産党の若手組織となっている。

## 第2節 行政制度

政府は国会の執行機関であると同時に行政の最高機関であり、国家の政治、経済、文化、社会、国防、治安、外交等を統一的に管理する。また、政府は地方行政機関に当たる人民委員会の指揮、地方議会に当たる人民評議会の指導・監督を行う。

内閣は、首相、副首相（現在4名）、各省大臣及び省と同レベルの国家機関の長により構成される。現在、省及び省と同レベルの国家機関は24設置されている。また、このほかに政府所属機関が8設置されている。

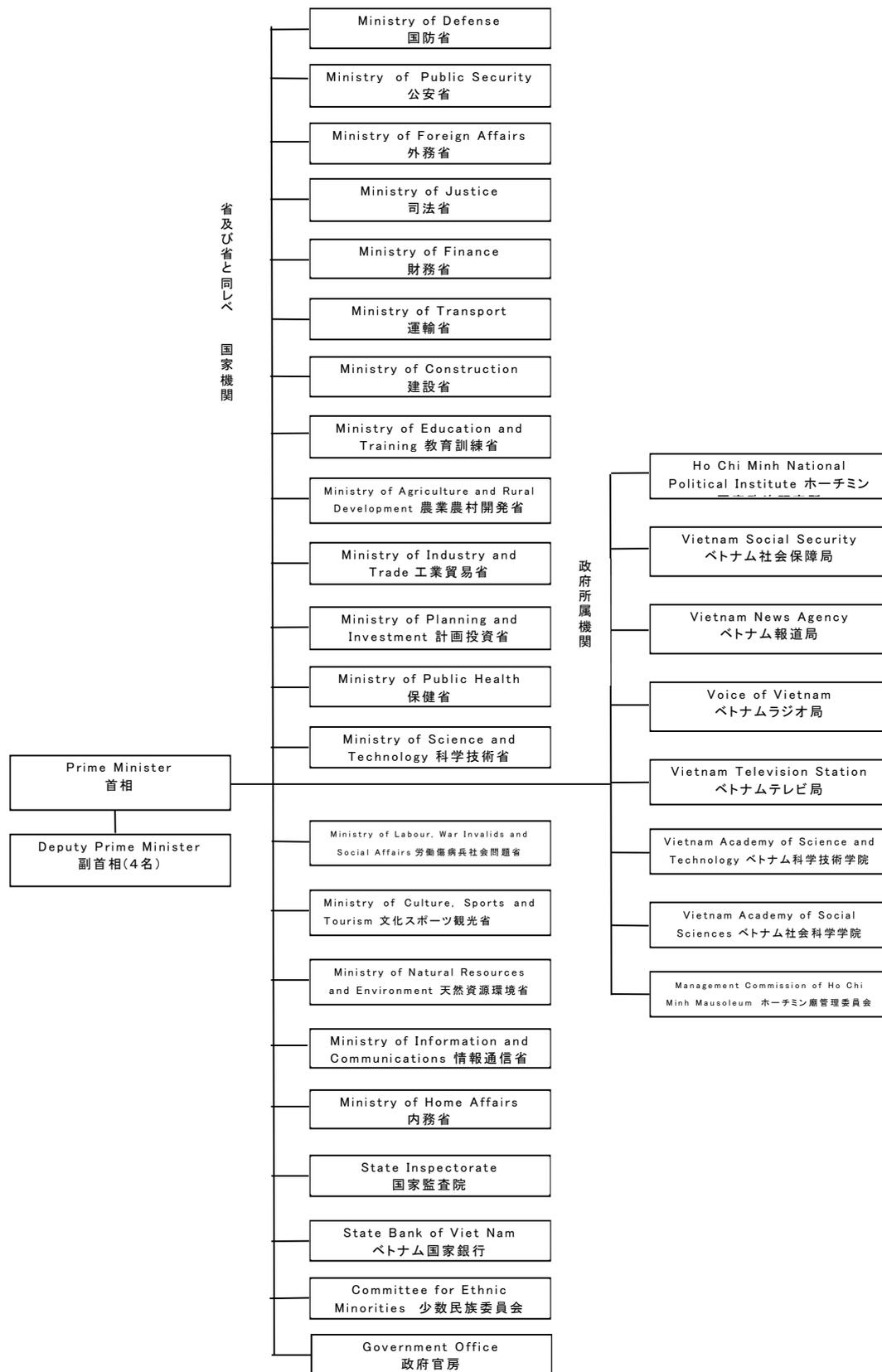
行政府の長は首相であり、国会に対して責任を負い、国会、国会常務委員会及び国家主席に対して政府の活動報告を行う義務がある。首相の任期は5年であり、国家主席の提案に基づいて国会により国会議員の中から選任される。現在の首相はファム・ミン・チン（Pham Minh Chinh）氏であり、国家主席と同じく2021年4月に選出された。

首相は、政府の長として中央政府機関の指導・監督を行う。また、上位レベルの行政機関として、直近下位レベルの地方行政組織である省レベル（省及び中央直轄市）に対し、憲法・法・そのほかの国家機関の文書に反する人民評議会や人民委員会の決定を取り消すことができるなど、強い権限を持っている。

表2-3 ベトナム閣僚名簿（2021年8月現在）

	ポスト	氏名		ポスト	氏名
1	首相	Pham Minh Chinh	15	運輸	Nguyen Van The
2	副首相	Pham Binh Minh	16	建設	Nguyen Thanh Nghi
3	副首相	Le Minh Khai	17	天然資源環境	Tran Hong Ha
4	副首相	Vu Duc Dam	18	情報通信	Nguyen Manh Hung
5	副首相	Le Van Thanh	19	労働傷病兵社会問題	Dao Ngoc Dung
6	公安	To Lam	20	文化スポーツ観光	Nguyen Van Hung
7	国防	Phan Van Giang	21	科学技術	Huynh Thanh Dat
8	外務	Bui Thanh Son	22	教育訓練	Nguyen Kim Son
9	内務	Pham Thi Thanh Tra	23	保健	Nguyen Thanh Long
10	司法	Le Thanh Long	24	政府官房	Tran Van Son
11	計画投資	Nguyen Chi Dung	25	少数民族委員会	Hau A Lenh
12	財務	Ho Duc Phoc	26	ベトナム国家銀行	Nguyen Thi Hong
13	工業貿易	Nguyen Hong Dien	27	国家監査院	Doan Hong Phong
14	農業農村開発	Le Minh Hoan			

表 2 - 4 中央省庁組織図 (2021 年 8 月現在) <sup>26</sup>



<sup>26</sup> 出典：ベトナム政府ウェブサイト

### 第3節 司法制度

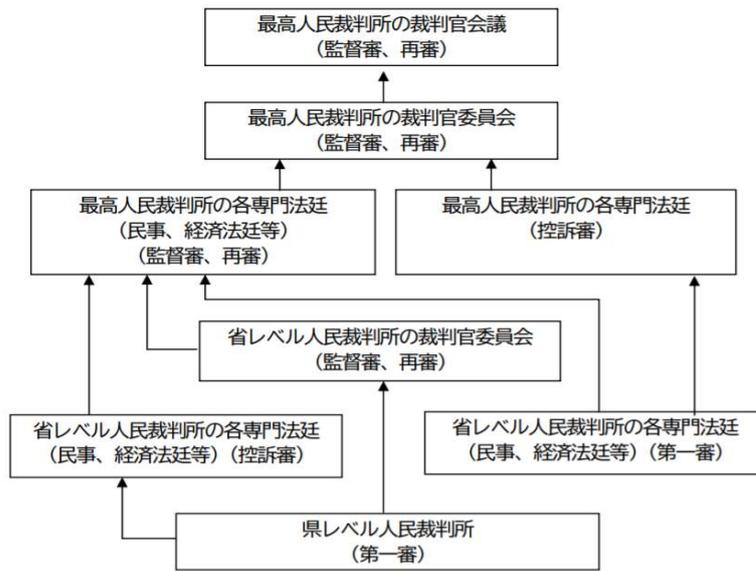
ベトナムの司法制度の大きな特徴は、司法権の独立が保証されていないことにある。ベトナムでは国家権力は統一的なものとされており、国会が最高の国家権力機関となっている。そのため、2013年「ベトナム社会主義共和国憲法」の第69条及び70条で、国会は司法権を行使する最高人民裁判所及び最高人民検察院に対して最高の監察権を行使できると定められている。したがって、司法は共産党の影響を強く受けることになっている。

ベトナムの司法機関には、人民裁判所、民事判決執行機関、人民検察院などがある。審理機関は、最高人民裁判所、地方人民裁判所、軍事裁判所、法律により設置されるそのほかの裁判所から構成されている。裁判制度の特徴としては、二審制（控訴審で確定）、公開裁判、人民陪審員制度の採用、民族の独自言語を使用する権利の保障などがあげられる。また、ソ連法に由来し主に法令適用の誤りを是正するための確定判決に対する監督審制度や、事実認定の誤りを是正するための再審制度が採用されている。三審制が採用されているようにも見えるが、監督審や再審を申し立てる権利は当事者にはなく、裁判所の所長や検察院の院長らのみにあるため、厳密には三審制とはいえない。

地方人民裁判所には省レベル人民裁判所と県レベル人民裁判所がある。一般に第一審は裁判官と人民陪審員によって構成され、より高度な法律的判断が求められる控訴審、再審などは裁判官のみで構成される。裁判中の裁判官と人民陪審員は平等の立場にあることが憲法で規定されている。なお、軍事裁判所は人民軍の中に設置されている。

民事判決執行機関は、財産の差し押さえなど、民事判決の執行を担当する機関である。省レベルにおいては人民委員会の司法局に所属する民事判決執行課、県レベルにおいては県レベル人民委員会の司法課に所属する民事判決執行室が置かれている。執行権は、第一審裁判所が審理した場所における、その裁判所と同レベルの執行機関が有する。

表 2 - 5 ベトナムの裁判所の三級二審制度<sup>27</sup>



<sup>27</sup> 出典：各国の地方自治シリーズ 28号『ASEAN 諸国の地方行政～ベトナム社会主義共和国編』（一般財団法人自治体国際化協会、2007年）